



誰とは言わないけど

7月に入りました。新年度になって3か月余りが過ぎ、子どもたちも学校生活に慣れてきました。ただ、人との関わり方については、これからも学び合い見つめなおすことが大切になってくると思います。私たちはこの3年余りの間、コロナ過にある中で周りの人と距離を置くことを常としてきました。本校の子どもたちも、大きな集団の中に入る経験がある人は少ないです。運動会ですら、今年の5月に新型コロナが5類になってはじめて全員が運動場に出て実施することができました。そのような状況の中で、直接会わずに人と関わるコミュニケーションの方法があります。それがSNSによるものです。



本来 SNS はコミュニケーションツールとして、または災害時の連絡ツールとして極めて有効なものであるにも関わらず、現在では様々な問題を抱えるようになりました。子どもたちが事件に巻き込まれることが無いように、公民館の講座を活用してもらい SNS について5、6年生が学ぶ機会を設けました。

マリオネット代表取締役の村上さんを講師にお迎えして、「SNSの使い方」と題してお話をいただきました。SNSツールの具体的な事例を挙げながら、丁寧にお話をしていただきました。「現実社会で言うてはダメなこと、してはダメなことは、当然SNSの中でもやってはいけない。」「誰とは言わんけどダサイよね。」SNSを使用するときの最も基本となること、実際に使われている人が傷つく言葉など、子どもたちの中に残ったことでしょう。終わりに5、6年生を代表して、6年生の三嶋幸太郎さんがお礼の言葉を言ってくれました。



「今日は私たちのために、力合西小学校へ来ていただき、ありがとうございました。私はこれまで、悪ふざけで友達の顔を写真で撮ってしまったり、画像で遊んでしまったことがありました。しかし、今日の村上先生のお話を聞いて、そのような行為は少し間違えると犯罪となってしまう、家族や周りの人にも迷惑をかけてしまうことに驚きました。これからは勝手に人の写真を撮らないように気をつけたいと思います。また、撮る必要があるときも、相手に許可を得て責任感を持って撮るようにしたいと思います。今日はありがとうございました。」

先月の小学校校長会の研修でも、県警の方に SNS を利用した児童が巻き込まれやすい事件やトラブルについての講話を聞きました。自撮り（自分の画像を送られる）の被害が熊本市でもあっているということを知るととても心配になりました。県警では YouTube を活用した啓発動画を配信されています。被害の未然防止に有効だと思います。一度ご覧になってはいかがでしょうか。

（検索→熊本県警 ゆっぴーと学ぼう）